

平成 26 年度 第 2 回萩市立図書館協議会 議事録

平成 27 年 2 月 13 日 (金)

14:00~16:00

会場 旭総合事務所

出席者	協議会委員 7 名	三好健二委員・津田和夫委員・鎗分朋世委員 椿義憲委員・加藤可奈子委員・伊藤静枝委員 山根純子委員
	教 育 長	中村哲夫
	事 務 局	萩 図 書 館 高木館長・江山副館長 植村館長補佐・蜂屋係長・村木 須佐図書館 長岡館長・河口主任 明木図書館 弘館長・森岡主任司書 田万川中学校図書館 吉崎主任

1. 開会のことば (弘館長)

旭地域に来ていただき感謝する。小学校・中学校の建て替えに伴い、明木図書館も新しく建つ。来年 3 月末に完成予定。本日は 26 年度 2 回目の図書館協議会。ご意見等、よろしく願います。

2. 教育長あいさつ

平素は図書館について温かな気持ちをいただき、感謝する。今回は旭総合事務所で開会する。この旭には明木図書館がある。村立としては日本最古という、歴史ある図書館。

学校の建物は平成 27 年度末までに耐震化を行わなければならない。明木小学校は昭和 33 年に建った。鉄筋コンクリート校舎は初めてで注目された。57 年経ち、小中併設の校舎を建てるという計画の中で、明木図書館も一緒にしようということになった。ただ建物が一緒になるだけでなく、田万川中学校図書館の地域開放型の図書館という、近い状況はあるが、学校が公立図書館と併設するというのは市内で初めて。この状況を学校教育にどううまく取り入れるか、それを特徴にしてどう活用していくか、図書館のコンセプトを考えて欲しい。図書館のハード面だけでなく、内容について、学校に併設されることの良さを示して欲しい。このあと、明木図書館の森岡が説明するが、委員の皆様のご意見をいただきたい。

3. 三好会長あいさつ

寒い中お集まりいただき、感謝する。早いもので、萩図書館は開館 5 周年となる。図書館職員、NPO 関係者の皆さんの努力で図書館運営が順調に運営されている。ある新聞の全国版の投稿欄の記事を紹介する。大阪府の 65 歳「全国的に公立図書館の利用が増えているという。本来の機能に加えて地域活性化を図ろうとする図書館ビジネスも登場した。もはや本を読むだけの場ではなく、多くの人が集う場にしようという声も聞かれる。これには異論がある。そのようなニーズを重視するなら、公民館や集会所を充実させるべきであり、図書館では静かに書物に集中でき、考えることができる場を保障すべき。それが唯一最大のサービスだ。地域の図書館をしばしば利用するが、この基本が年々崩れていっているように感じる。時間つぶしに訪れる母子、居眠りする高齢者。図書館の多目的化を図るより、今なすべきは原点回帰である。文化庁の調査でも本離れが明らかになっている。図書館本来の読み、そして考えることに専念できる場所の充実を進めて欲しい。」1 つの意見として紹介した。初年度、萩の図書館は文化のセンターであると挨拶をしたが、2 年目には知と文化に加え、交流

の場と挨拶。市民が自分で考え、行動するための読書の場、その読書活動の啓蒙の場とするための環境づくりとして交流を考えている。図書館ビジネスというのは、九州の佐賀の武雄市のことを言っているのだと思うが。図書館本来の機能を忘れずに心に留めながら、啓蒙活動をしていくべき。

植村補佐 教育長、椿委員はここで退席する。
議事進行はここから三好会長にお願いする。
この後、明木図書館の視察も予定している。
三好議長 それでは新規事業について事務局からの説明を。

4. 議 事

1) 27年度に実施予定の新規事業について

② 新明木図書館整備事業

森岡主任司書 明木図書館整備について説明（協議会資料 P1）
会 長 質問や意見をどうぞ。
委 員 今、明木小学校の生徒数は。
森岡主任司書 約 50 人。
委 員 図書館側から見て、学校併設というのはどうなのか。
森岡主任司書 学校図書館と一緒になるということで、児童・生徒はもちろん、先生方への支援がやりやすくなる。地域の方も一緒に利用していただき、地域に根差した図書館を目指す。
委 員 田万川で特に感心したのは、生徒が本を読み、自分で調べ、それを教育に活かしているということ。
森岡主任司書 新明木図書館のコンセプトを紹介（協議会資料 P2）
委 員 児童クラブと一緒になるというのは。
森岡主任司書 現在、児童クラブは図書館の近くの老人憩いの家を借りて運営されている。小・中学校が建て変わる時に、児童クラブ・図書館が併設されることとなり、子どもたちの行き来も安全になる。一体化での計画となっている。
委 員 児童クラブとは、何か。
森岡主任司書 児童クラブの指導員の先生が来られているので、鎗分委員から説明をお願いします。
委 員 共働きの両親の変わりに留守番をさせる目的で。国の趣旨で、学校の敷地に併設するようになっているため、萩市内の小学校から離れて建てられているものも、そのうち学校の敷地内に併設される。今回、明木小学校が新築されるのを期に併設することとなった。
委 員 萩図書館と児童館もそういった形。明倫小から帰ってきて「ただいま」という声が出ている。そこで宿題をしたりしている。
委 員 そこと同じような形になるのか。
委 員 明倫小学校は人数が多いので、学校内と児童館内とに分かれている。
委 員 学校が休みの時には、図書館と学校とは閉め切られるのか。
森岡主任司書 田万川はオープンな造りだが、学校と、児童館・図書館の境、図面の薄茶色と水色の部分の境が区画され、シャッターか何かで仕切られる。
会 長 次の議事に移る。

- ② 姉妹都市との交流企画事業の実施（輪島・鎌倉・下田各図書館）
- ③ 読書普及推進事業の新規取り組みについて
 - ※ビブリオバトルの実施
 - ※ブラインドブックマーケットの実施
- ④ 萩図書館開館5周年記念「萩が生んだ音楽界の奇才 兼常清佐」展

江山副館長 ②～④の事業について説明（協議会資料P3～5）
 兼常清佐について、三好議長、補足があればお願いします。
 会 長 最後に時間があれば。②～④のことについて、質問等は。
 なければ、また最後、その他のところで。次の議事に移る。

2) 萩市立図書館協議会委員の任期について

高木館長 委員の皆様にお礼とお詫びを申し上げます。3月末で任期が切れる。二年間にわたり、審議していただき感謝すると同時にお詫びを申し上げます。我々からの日常情報の提供が少なかったために、この会での皆様からの意見の開陳が少なかったと、委員の皆様からのご指摘。また、萩図書館はNPOとの協働だが、協働の相手方のNPOの理事が出席しないのはどうなっているのかというご指摘もあった。
 次期からは、NPOの理事長・副理事長が出席するようにする。諮問事項が少なかったため、この場での意見の開陳が少なかったというご指摘もあった。図書館大会の分科会、図書館協議会部会に参加した。委員・館員関係者が歩み寄り、互いに意見を出す中から、新しいものが生まれてくると感じた。
 お詫びと2年間にわたる参会に感謝する。

委 員 我々委員も日頃から市民のニーズを汲み上げ、収集することが大切。次期への課題としたい。

委 員 ここ数年の利用者の推移は。

江山副館長 萩図書館は開館した年は多かったが、若干減って、横ばいの状態。
 森岡主任司書 明木図書館は、子どもの利用は多かったが、今年度1月からは小学校が仮設校舎に移ったため、子どもの利用が激減した。

河口主任 須佐図書館も残念ながら、年々人口減少にも増して利用者が少なくなっている状況。

吉崎主任 田万川中学校図書館は、ほぼ横ばい。リピーターの方が利用されている。

委 員 来館者の年齢別は。

江山副館長 来館者はわからないが、利用者は6歳までが10%、小学生が16%、次に多いのが、14%の61～70歳、30歳代から60歳代がほぼ同じで、11%～12%、最も少ないのが高校生で3%、中学生が4%。

委 員 高校生がすくないようだが。

江山副館長 入館者は多いが、貸出の利用は少ない。

会 長 小学生と60歳以上が多いというこの傾向は、ここ数年あまり変わっていないのか。

江山副館長 移動図書館で、明倫を除く全ての小学校・保育園を回っているため、この年齢層は利用率が高い。

会 長 毎年、読書週間に統計が出ている。学生の読書人口が増えてきているとあった。原因のひとつは小学生、幼児への読み聞かせの効果、

中学生・高校生に少しずつシフトしてきている。もう1つは教育の中で、自分で調べて発表するという学習方法にあるのでは。それが、ずっと続いて欲しい。

委 員 自然と環境についての発表会で、皆よく勉強して来ているが、本から調べたのか、ネットなのか不明。

江山副館長 ネットからの情報の方が、簡単にすぐに検索できるが。読書通帳も仕掛けのひとつ。どのくらい効果があるのか。

会 長 次に、萩図書館からの報告をお願いしたい。

5. 報 告

① 図書館周辺の交通事情の変更について

植村補佐 図書館駐車場入口の一方通行改善と大河ドラマ館駐車場の無料発券機についての説明（協議会資料 P6）

委 員 萩・明倫センターから図書館への横断歩道はないのか。

植村補佐 横断指導線はあるが、正式な横断歩道はない。

委 員 図書館の駐車場は無料だが、明倫センターは有料なのか。

高木館長 手続きが発生するが、市民は無料。図書館の駐車場は手続きが発生しないため、すぐに満車となる。

会 長 その他に入る。何か質問・意見があれば承りたい。

6. その他

委 員 昨年11月くらいに田万川中学校図書館に行くことがあった。その際、図書館の本をご自由にお持ち帰りくださいと置いてあった。本の入れ替えのために、定期的に行っているのか。萩図書館でもしているのか。

吉崎主任 毎年、田万川中学校の文化祭の日を初日として2週間程度、古本市を開催している。図書館の保存期限切れの雑誌や地域住民に古本提供を呼びかけて古本市を開催している。無料で提供しているが、募金箱を設置している。

江山副館長 萩図書館では、雑誌は保存期限を定めているので、保存期限切れのものは毎月第4日曜日にゲートの前に設置し、無償で提供している。

委 員 あまり知られていない。知る人ぞ知る。

江山副館長 掲示している。旧図書館の時から継続していること。雑誌は無料だが、市民の方から提供された本は、図書館に受け入れるものもあるが、すでに所蔵しているものなど受け入れないものは、NPOに渡し、NPO萩みんなの図書館が、毎年秋一回、古本市を開催している。それは有料。

今は、それとは別に、カフェぶらりのところに小さなコーナーを設けている。3冊100円で文庫本を中心に提供している。売り上げは、萩図書館に寄付していただいている。次回の雑誌リサイクルの日のお知らせは、入口に表示している。

河口主任 須佐図書館でも、秋の読書週間にあわせ10月の最終土曜日に1日だけだが、古本市を開催している。萩図書館と同じように、保存期限の切れた雑誌や寄贈本を当館は無料で提供している。

森岡主任司書 明木図書館では、毎年、11月の第3日曜日に旭マルチメディアセンターで開催の明木地区農業文化祭で古本市を行っている。

須佐図書館と同様に、期限切れの雑誌や寄贈本を無料で提供している。

会 長 他に質問等が無ければ、先ほどの件を説明する。
兼常清佐について、図書館と明木に関することを説明。
これですべての議事を終了。

植村補佐 この後、明木図書館の視察に行く。では、これで図書館協議会を終了する。最後に閉会のことばをお願いします。

7. 閉会のことば（長岡館長）

6月の会議には出席できず申し訳ない。4つの図書館は、それぞれ蔵書数なども違うし、あり方も違う。合併してもうじき10年を迎える。新市の中で、今後の図書館はどうなっていくのか。図書館の基本計画に関わった経緯がある。任期が2年ということで、大変お世話になった。今後もよろしく願いしたい。